

2019年2月20日

各位

MBS ドキュメンタリー『映像』ディレクターの 齊加尚代が『放送ウーマン賞2018』を受賞

放送界で活躍し優れた功績をあげた女性に贈られる、日本女性放送者懇談会（SJWRT）の『放送ウーマン賞2018』に、当社報道局のディレクター 齊加尚代が選出されました。当社からの受賞は1980年の坂本登志子、2008年の水野晶子（ともに当時、当社アナウンサー）に続き3人目です。

齊加は当社のテレビドキュメンタリー番組『映像』シリーズなどを担当しています。フェイクニュースという言葉が一般化する中、多層な取材にもとづく事実の検証と、冷静かつひるむことのない取材姿勢が評価されました。制作した主な番組とその受賞歴などは下記の通りです。

記

◇主な担当番組と受賞歴

『映像'15 なぜペンをとるのか～沖縄の新聞記者たち』（2015年9月27日放送）

第59回日本ジャーナリスト会議（JCJ）賞

『映像'17 沖縄 さまよう木霊～基地反対運動の素顔』（2017年1月29日放送）

平成29年民間放送連盟賞テレビ報道部門優秀賞、第37回「地方の時代」映像祭優秀賞、
第72回文化庁芸術祭優秀賞

『映像'17 教育と愛国～教科書でいま何が起きているのか～』（2017年7月30日放送）

第55回ギャラクシー賞テレビ部門大賞、第38回「地方の時代」映像祭優秀賞

『映像'18 バッシング～その発信源の背後に何が』（2018年12月16日放送）

ギャラクシー賞2018年12月度月間賞

◇日本女性放送者懇談会

テレビ、ラジオ、制作会社、広告会社などで働く女性たちが、自らの意思で集まる非営利の団体。1969年設立。

◇放送ウーマン賞

1973年から毎年、放送界で活躍し優れた功績をあげられた女性に贈られている。歴代受賞者には石井ふく子さんや黒柳徹子さん、大石静さんなど。

以上

本件問い合わせ先：毎日放送広報部

電話 06-6359-1123（代表）